

SONY[®]

Adobe Photoshop プラグインモジュール

使用説明書

本書は、UP-CR10L のフレームつきプリント用テンプレートを作成するための Photoshop プラグインモジュールのインストール方法と使い方について説明しています。

ご使用になる前に

プラグインモジュールをご使用になる前に、必ず CD-ROM の “ReadMe” ファイルをお読みください。

The logo for SnapLab, featuring the word "SnapLab" in a stylized font. The "S" is multi-colored (red, orange, yellow, green, blue), and the "Lab" is in blue. The "a" in "Lab" has a unique shape.

UP-CR10L

目次

概要	3
動作環境	3
プラグインモジュールをインストールする	4
テンプレートを作成する	4
テンプレートを使用するまでの流れ	4
画像を作成する	4
プラグインモジュールを操作する	5
テンプレートを UP-CR10L に移す	6
作成されるフォルダとファイルについて	6

Adobe、Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。Microsoft、Windows は、それぞれ米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

コンパクトフラッシュは米国 SanDisk 社の商標です。その他記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

概要

UP-CR10L Photoshop プラグインモジュールは、Adobe Photoshop を使って、UP-CR10L で使用するフレームつきプリントのテンプレートを作成するためのソフトウェアです。

このプラグインモジュールを使用すると、オリジナルの画像データを使って、テンプレートとして必要な各種のフォルダとファイルを自動的に作成できます。

動作環境

プラグインモジュールを動作させるには、以下の環境が必要です。

- Microsoft Windows 2000/Microsoft Windows XP
- Adobe Photoshop Version 5.5、6.0、7.0、Photoshop CS、CS2
または
Adobe Photoshop Elements Version 1.0、2.0

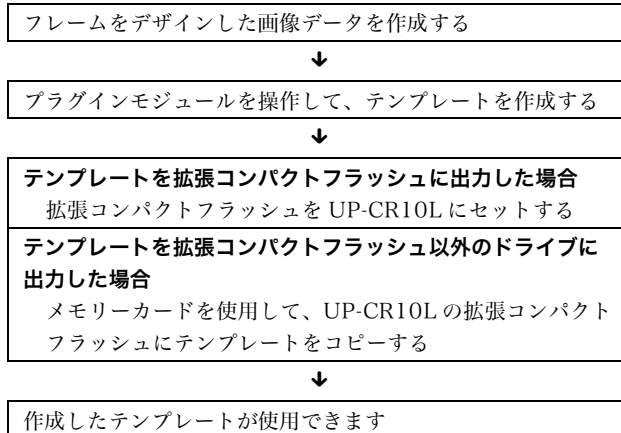
プラグインモジュールをインストールする

プラグインモジュールを使用するには、付属の CD-ROM から「¥plug-in¥Sony_upcr.8be」を、Photoshop のプラグインフォルダにコピーします。

テンプレートを作成する

ここでは、プラグインモジュールを使用して、フレームつきプリントのテンプレートを作成する手順を説明します。

テンプレートを使用するまでの流れ



画像を作成する

フレームをデザインした画像データを作成します。テンプレートとして使用できる画像のサイズは、プリントサイズおよびプリントの向きによって決まっています。以下のサイズで画像データを作成してください。

プリントサイズ	画像サイズ (単位：ピクセル)
L サイズ 89 × 27 mm (3.5 × 5 インチ) 横	横 1,536 × 縦 1,100
L サイズ 89 × 27 mm (3.5 × 5 インチ) 縦	横 1,100 × 縦 1,536
はがきサイズ 102 × 152mm (4 × 6 インチ) 横	横 1,848 × 縦 1,248
はがきサイズ 102 × 152mm (4 × 6 インチ) 縦	横 1,248 × 縦 1,848
2L サイズ 102 × 152mm (5 × 7 インチ) 横	横 2,148 × 縦 1,536
2L サイズ 102 × 152mm (5 × 7 インチ) 縦	横 1,536 × 縦 2,148

ご注意

上記画像サイズの上下左右の端から48ピクセルまでの部分はプリントされないことがあります。これらの部分には、切れては困るロゴや文字などを配置しないでください。

テンプレートを作成できる画像データは、RGB形式のデータです。RGB形式以外のデータからは、テンプレートを作成できません。

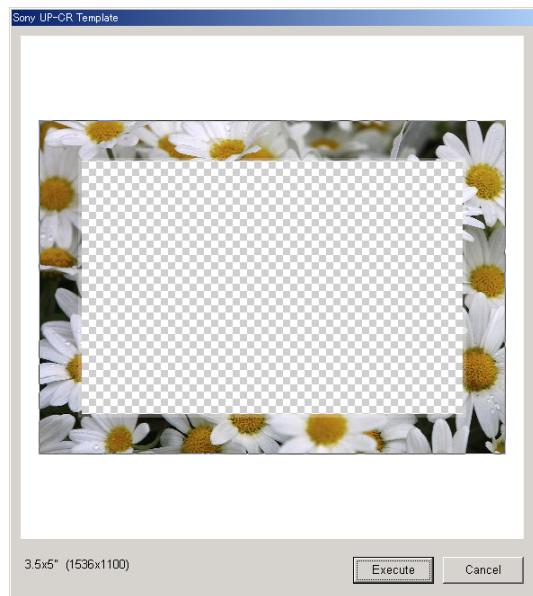
透過領域について

透過領域とは、フレームつきプリントで写真がはめ込まれる領域です。透過領域にしたい箇所は、色を RGB 値 (254,254,254) に設定してください。RGB 値が (254,254,254) であっても透過させたくない箇所がある場合は、透過領域にする箇所をプラグインモジュールで指定できます。詳しくは、「プラグインモジュールを操作する」の手順 2 をご覧ください。

プラグインモジュールを操作する

- 1 Photoshop でテンプレートを作成する画像データを開く。
- 2 Photoshop の [ファイル] メニュー - [データの書き出し] - [Sony UP-CR Template] を選択する。

プラグインモジュールのダイアログボックスが表示されます。透過領域が、格子模様で表示されます。



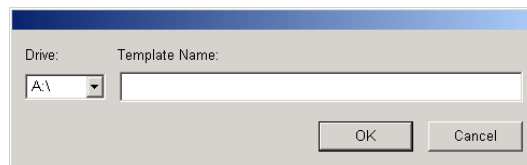
メモ

画像データ中で RGB 値が (254,254,254) の箇所は、すべて透過領域として指定されます。マウスをドラッグして領域を指定することで、指定した四角形の領域外は、RGB 値が (254,254,254) であっても、透過領域から除外されます。RGB 値が (254,254,254) 以外の箇所は、指定した領域内であっても、透過領域になりません。

透過領域は、縦横とも最低 10 ピクセル以上必要です。縦横のどちらかが 9 ピクセル以下の場合、指定は無効になります。

- 3 プラグインモジュールのダイアログボックスで、[Execute] ボタンをクリックする。

次のダイアログボックスが表示されます。



- 4 出力先ドライブとテンプレート名を指定する。

Drive:

テンプレートを出力するドライブを指定します。フォルダは指定できません。お使いのパソコンでコンパクトフラッシュを使用できる場合は、UP-CR10L の拡張コンパクトフラッシュをセットして、そのドライブを指定します。

テンプレートは、指定したドライブの ¥Sony¥UPCR¥template¥ (用紙サイズ) フォルダに出力されます。(用紙サイズ) は、画像のサイズによって「3x5」、「4x6」、「5x7」のいずれかが自動的に選択されます。フォルダがない場合は、自動的に作成されます。

Template Name:

テンプレート名を入力します。テンプレート名は最大 32 文字で、英数字および "_" (アンダーバー) が使用できます。拡張子は入力しません。

- 5 [OK] ボタンをクリックします。

テンプレートが指定したドライブに出力されます。同名のテンプレートが既にある場合は、上書き確認のメッセージが表示されます。

出力されるファイルと出力先フォルダについては、「作成されるフォルダとファイルについて」をご覧ください。

テンプレートを UP-CR10L に移す

拡張コンパクトフラッシュにテンプレートを出力した場合

UP-CR10L の拡張コンパクトフラッシュ用スロットに拡張コンパクトフラッシュをセットします。

拡張コンパクトフラッシュ以外のドライブにテンプレートを出力した場合

以下の手順で、作成したテンプレートを拡張コンパクトフラッシュにコピーします。

- 1 パソコンにメモリーカードをセットする。
- 2 メモリーカードのルートフォルダに「Sony¥UPCR¥Template」フォルダを作成し、使用するプリントサイズに対応したフォルダをフォルダごとコピーする。
- 3 メモリーカードを UP-CR10L にセットする。
- 4 UP-CR10L の管理画面のテンプレートタブでテンプレートをコピーする。

UP-CR10L での操作についての詳細は、UP-CR10L の取扱説明書をご覧ください。

作成されるフォルダとファイルについて

プラグインモジュールを実行すると、次に示すフォルダとファイルが出力先ドライブに作成されます。

